



縣下一を誇る自信

講評は来る廿一日公會堂で

管内關係三千名を集め

昨十八日から實戰演習の繁劇

を續けてゐる防訓第三期の最

終日である今十九日の平市は

前日に倍する緊張を以て曉を

破る午前三時五十分の空襲警

報から自らまぐるしい活動を繰

返されて演習は今夜に及ぶも

のと云はれてゐるが特記すべ

きものは昨十八日午後紹屋町

住吉屋本店前に落された爆弾

修理、大町芳本旅館の焼夷彈

被害の水道斷水に對する急應

火災その他であつて何れも目

ざましき働き振りを賞されて

ある、同訓練終了の平署管下

に於ける講評は來る廿二日午

後一時平市公會堂に警防團幹

部、市町村並に防空擔任、指導

員、家庭防火群等約三千名を

集めて渡部署長により行はれ

るが平市の成績について同署

長は左記の如く語つた

総合的に縣下第一を誇るに

足る自信がある、獨特なも

のを云へば常備消防の規律

の整つてゐること、出動の

早いこと、火災現場に着く

ボンブの据付、放水の機敏

なことは有數なものだ、僅

ない、また防毒、救護班に

出勤してゐる醫員の如き重

要な職を総合せて一名の欠

席がないことは他に見られ

ず工作班の活動も縣下稀と

感し其の結果現在有するト

家庭防火群の成績

二婦人負傷

大町の想定火災

漸次惡の深みへ

旅館の想定火災に出动した家

庭群の馬目よし四さんは眞

意氣ならほん物でも確かに

消して終えると信じてゐる

日の大町芳本旅館の火災想

定に於けるものゝ如き彼の

眞劍味あふるゝ活動は他管

内には少なからう、昨十八

日の大町芳本旅館の火災想

定に於けるものゝ如き彼の

眞劍味あふるゝ活動は他管



全芽こじょう桑育

労力の大節減

(4) 本作も安定である
以上六つを擧げてゐるが夏
秋蠶稚蠶條桑育の成否は懸
つて全芽育にあることを強
調したい、立通して全芽を
作れば初秋蚕は絶対間違ひ
ないから本年の如く残桑の
多い時には大いに夏秋稚蠶
條桑育を施行されたいと田
部井氏が語つてゐる。

右に對し野中埼玉蠶業試験場
長の語るものと上ると、
田部井さんは條桑飼育の先
覺者で、さらに進んで夏秋
蚕の全芽育、條桑育に不斷
の努力を續け成功してゐま
すが一般的にはほ技術的
に工夫をする點があるの
で以下のところは一般養蚕
家の實行し易い安全な方法
として晚秋蚕の稚蠶飼育に
は育成全芽のうち適當に摘
み一、二齡は刺芽、三齡か
ら全芽育成の技術が進み適
したもの、其質が稚蠶用と
して最もよく、大体本年も
摘稍・摘葉の期日は晚秋蠶
の全芽が育成出来るやう
になれば條桑育の方法がよ
い、昨年の實績を見ると九
月、三、四日頃摘いたもの
は摘立の二十日前に全芽育
成の手術・摘稍・摘葉を行
つたもの、其質が稚蠶用と
して最もよいと思はれます
品種は改良良速し又はこれ
に類したもの、桑園は四年
から八年目まで位の樹勢旺盛
な桑園を使用するがよい
桑立量は卵量十グラムに對
して桑約百株を充てれば三
眠までの全芽が得られます

スペイン G H N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒

少しお水を加えます

(平二) 西村屋薬舗 (電三)

稚蚕用桑園を特に設けて置
くことが一番よいことであ
ることになれば桑園家の勞
力は少くとも四一の節約が
出来ると信じてゐる(完り)

附属産院 新設
婦人科 木村病院

平市新川町
電話一六四一五

便利で日下家政婦會の
經濟な派出場を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
会員同志の御加入(派出なき閑暇に我経や
を御説明致します(編物をお教授致します))

平市一丁目三十一番地(電話七二三三番)
會長 日下すい子

内科、小兒科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町
電話五二三番
院長 医學士 高久忠

高久病院

平市元共濟病院跡
電話六四一五
院長 医學士 鈴木定藏

平市田町(松月堂向ヒ)
電話五〇九一
院長 日本齒科醫學士 中野直次

小兒科院 長 鈴木定藏
内科院 副院長 高橋俊幸
藥剤科院 長 吉本孝平
時間 每日午前八時より午後九時まで
限夜間ありにあらず
時治療 限夜間ありにあらず
物理的療法科院 長 鈴木定藏

根本婦人科醫院
(入院隨時)
平市南町
根本莊次雄郎
電話三四五番

根本婦人科醫院
(入院隨時)
平市南町
根本莊次雄郎
電話三四五番

診療科目
一、歯科 一般

保存科、補綴科、機械架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膜漏科、

中野病院
平市大工町
電話五九一
院長 日本齒科醫學士 麟谷伍郎
主任 佐藤重義

中野病院
平市大工町
電話五九一
院長 日本齒科醫學士 麟谷伍郎
主任 佐藤重義

新治藥林
號七〇六
山野邊藥局
生ハタキ
醤油、味噌
鰹節食料品

金屋一山聯合名會社
電話本業部二一七〇番
明治生命織城代理店 山崎與三郎



(話電) 五六十
屋砂真 (前野市平
通り通道新)

帝國海上火災代理店 事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目一六番

本業、販賣、金物店

全屋屋主

九九。九零